

## 二宮町総合戦略政策評価に対する意見等について

## 基本目標 1

安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる

## &lt;第1回委員会&gt;

開催日：平成28年12月9日（金）

## 各委員からの個別意見

- ▼施策（1）公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり
- ・今後の方向性に「対話の機会と時間をしっかりと確保し」と記載がある点は、評価できる。
  - ・健康づくりや教育との関連から、見直す必要がある。
  - ・町全体として、公共施設をどうしていくのかが見えない。
  - ・ワークショップの結果を実行に移せる体制が整っていない。
- ▼施策（2）誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり
- ・健康や未病に関する県の取組みとの連携の可能性を探る。
  - ・縦割りではなく、横のつながりをもって、施策を連動させながら進める。
- ▼施策（3）地域コミュニティの醸成支援
- ・資格やノウハウを持つ人材等、「個」を町の中で活かせるようにしてほしい。
  - ・コミセン等、人が集まる公共施設のあり方を見直す。
- ▼施策（4）災害や犯罪に備える地域づくり
- ・「地区防災マニュアルの策定」は目標ではなく、一つの作業ステップにすぎないのではないか。
  - ・LED化は財政面でも効果があり、また、それがきちんと施策評価で評価されていることも良い。
  - ・ボランティア主催の勉強会による防災意識の高まりを災害対応力強化の視点に加えては、いかがか。
  - ・自主防災について、町として何をやるのか明確にする必要がある。
- ▼その他
- ・ターゲットを明確にした上で、基本目標の数値を他市町と比較・評価する必要がある。
  - ・今住んでいる人が「住んでよかった」と思えるまちづくりという観点を加える。
  - ・経済的な裏打ちがないと、「自立性」の判断ができない。

## 二宮町総合戦略評価委員会としての「評価」

※ 本委員会として、基本目標1の達成に向けた町の取り組みに対する評価を、下記1～3よりお選びください。

- |                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 1： 国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する |
| <input type="checkbox"/>            | 2： 基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある               |
| <input type="checkbox"/>            | 3： 基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある                                      |

## &lt;第2回委員会&gt;

開催日：平成29年1月23日（月）

## 二宮町総合戦略評価委員会としての「意見」（案）

基本目標「安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる」については、目標達成に向けた進捗状況は良好であり、引き続き推進する必要があると考える。

高齢化、核家族化等により、人々はさまざまな課題を抱え、行政による支援は欠かすことができない。しかし、持続可能な財政運営の視点から考えると、行政主導の支援だけではなく、地域の潜在的な力を活性化することで、地域の課題解決を図る必要がある。

そのため、行政は、町の中で公共施設をどうしていくかというハード面からのアプローチと、二宮の強みである「人」に主眼を置き、個人が持つ知識や経験を生かし、それぞれが能力を発揮するためにどうしていくのかというソフト面からのアプローチにより、住民レベルでの主体的・自立的な取り組みを支援する必要がある。また、取り組みの評価には、他者と比較することで、自身の強みや課題が見えることから、目標への達成度合いだけでなく、ターゲットを明確にした上で、数字の比較をすることも不可欠である。

こうした取り組みを一体的に推進することにより、安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい地域の実現に繋がると考える。

## 二宮町総合戦略政策評価に対する意見等について

### 基本目標 2

二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる

<第1回委員会>

開催日：平成28年12月9日（金）

#### 各委員からの個別意見

##### ▼施策（1）「にのみやLife」の提案と発信

- ・二宮の強みを活かした魅力あるまちづくりも重要である。
- ・「温かい」という点を前面に出した施策が必要ではないか。
- ・町の強みについて、もっと掘り下げる必要がある。
- ・町の発信力はまだまだ強くない。さまざまな媒体を活用し、積極的に発信してほしい。
- ・シティプロモーションは、民間の力をうまく活用するべきだ。
- ・空き家の実態調査で、どのような結果が出て、何を見直すのかという改善策が見えない。
- ・空き家バンクは制度として限界があるのではないか。

##### ▼施策（2）二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり

- ・公共施設の活用が進むよう、PR等に努めてほしい。
- ・駅周辺の公共施設の老朽化が目立つので、町を挙げて、きれいにしてほしい。
- ・住民サイドでの地域連携が進み、さまざまな活動が起きるよう、行政のフォローをお願いしたい。
- ・ボランティアによる町案内等、多額の費用をかけずにできるプロモーションを実施し、二宮町のファンづくりの方策を考える必要がある。

##### ▼施策（3）特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成

- ・コミュニティスクールは地域と連携し、地域の人材を活用しながら、進めてほしい。

##### ▼その他

- ・二宮単独で施策を考えるのは限界にきており、地域連携で考えざるを得ないのではないか。
- ・基本目標2は、この総合戦略の柱であり、できるだけ補強すべき。
- ・目標に至る道筋をもっと明確にしてほしい。

#### 二宮町総合戦略評価委員会としての「評価」

※ 本委員会として、基本目標2の達成に向けた町の取り組みに対する評価を、下記1～3よりお選びください。

<input type="checkbox"/>	1： 国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
<input checked="" type="checkbox"/>	2： 基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3： 基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある

<第2回委員会>

開催日：平成29年1月23日（月）

#### 二宮町総合戦略評価委員会としての「意見」（案）

基本目標「二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる」については、目標達成に向けた進捗状況は順調ではあるが、さらなる推進のためには、打つべき方策が他にもあり、一部、施策を改善する必要があると考える。

この町に今までとは違う新たな「人の流れ」を創出するには、この町が選ばれるよう、多くの人を引き付けるような町の魅力を生み出す必要がある。

そのために、町は、行政主導の取り組みだけでなく、民間レベルでの多様な活動を喚起する支援を行うとともに、たとえばボランティアによる町の案内や美化・清掃等、町民との協働による活動を通じて、町を挙げた「おもてなし」の力を醸成し、この町を選んで来る人を迎える準備が必要である。同時に、定住促進を目的とした空き家等の施策については、空き家の実態調査の結果を踏まえた上で既存制度が抱える課題を明らかにし、その改善策を示すとともに、適宜、周辺市町や県との連携を図りながら、有効に機能させなければならない。

こうした取り組みを一体的に推進することにより生まれた町の魅力を、従来の方法にとらわれず、自ら進んで発信することで、より多くの人々に「住んで良かった」を実感してもらえることに繋がると考える。

## 二宮町総合戦略政策評価に対する意見等について

### 基本目標 3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる

#### <第1回委員会>

開催日：平成28年12月9日（金）

##### 各委員からの個別意見

▼施策（1）子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目のない支援と環境づくり

- ・出生率向上のためには、支える人材を充実させる必要がある。
- ・特色ある教育施設を誘致することも考えられる。

▼施策（2）子育てと仕事の両立の推進

- ・育児に積極的に関わる職員の支援等、少しでも子育てを支えるような環境の実現に努める必要がある。

##### 二宮町総合戦略評価委員会としての「評価」

※ 本委員会として、基本目標3の達成に向けた町の取り組みに対する評価を、下記1～3よりお選びください。



1： 国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する



2： 基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある



3： 基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある

#### <第2回委員会>

開催日：平成29年1月23日（月）

##### 二宮町総合戦略評価委員会としての「意見」（案）

基本目標「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる」については、目標達成に向けた進捗状況は良好であり、引き続き推進する必要があると考える。

少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化等による、家庭や地域を取り巻く社会環境の変化に伴い、増大・多様化する保育ニーズに対応するためには、町全体で子育てを応援する機運を醸成する必要がある。

そのために、町は、既存の保育資源を最大限活用するとともに、保育環境の基盤である人材確保の支援を行うことで、保育サービスの充実や資質の維持・向上を図る必要がある。また、他市町村との差別化を図るべく、既成概念にとらわれずに、思い切った方策を取る気概を示すことも、時には必要である。

さらに、町は、ワーク・ライフ・バランスに対する正しい理解を深めるための普及啓発を行うとともに、育児休業を希望する男性職員が取得しやすい職場環境の整備等、積極的に子育てに関わる職員を支援し、一人ひとりが働きやすい環境の実現に向けて、先導的な役割を担うことが期待される。

こうした取り組みを一体的に推進することにより、安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくりに繋がると考える。

## 二宮町総合戦略政策評価に対する意見等について

### 基本目標 4

### 二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる

#### <第1回委員会>

開催日：平成28年12月9日（金）

#### 各委員からの個別意見

##### ▼施策（1）地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり

- ・学生の起業支援等の後押しをする。
- ・アーケードをシャッター街にしないため、商店を後押しする。
- ・定期的な催しを行う。
- ・アーティストを誘致する。
- ・町内での起業経験を共有し、次に活かす。
- ・まちづくり活動に参加する学生の受入について、卒業後にどう繋いでいくかを考えることが必要。

##### ▼施策（3）身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出

- ・高齢者が働ける環境づくりの強化。
- ・農業振興に予算を配分すべきなのか。ベッドタウンとして発展してきた経緯を踏まえ、それを住みやすい町にするために予算が使われるべきではないか。
- ・農業のブランド化に向けた取組み事例を調査・研究した上で、どのような支援を行うべきか検討することが必要。

#### 二宮町総合戦略評価委員会としての「評価」

※ 本委員会として、基本目標4の達成に向けた町の取り組みに対する評価を、下記1～3よりお選びください。

<input checked="" type="checkbox"/>	1： 国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
<input type="checkbox"/>	2： 基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3： 基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある

#### <第2回委員会>

開催日：平成29年1月23日（月）

#### 二宮町総合戦略評価委員会としての「意見」（案）

基本目標「二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる」については、目標達成に向けた進捗状況は良好であり、引き続き推進する必要があると考える。

起業・雇用環境の整備には、景気動向をはじめとした経済社会情勢の複数の要因が絡まっており、町単独の取り組みでは解決が困難な課題もあるが、人口減少のスピードを少しでも緩和する意味でも、引き続き、活力ある産業の創出や雇用の確保に取り組む必要がある。

そのために、これまで同様に、既存の町内事業者の事業継続・拡大支援や関係機関と連携したフォローアップに加えて、起業に挑戦する人を幅広く後押しし、新たな産業の創出を図る必要がある。同時に、財源をはじめとした行政資源は今後ますます縮小することから、選択と集中の視点を持ち、効率的・効果的な配分となるよう、十分な検討が不可欠である。さらに、地域の課題解決をより促進するために、学生が持つパワーや柔軟で斬新なアイデアをまちづくりに活用できるよう、学校との連携のあり方を検討する必要がある。

こうした取り組みを一体的に推進することにより、誰もが安心して定住し、働ける環境の実現に繋がると考える。